

ロシア留学体験レポート

はじめに

今回のロシア留学体験は私にとって自分を成長させるかけがいのない機会だった。このレポートでは私のウラジオストクの体験を通じて感じたことを綴っていく。ロシア留学を考えている後輩たちにも参考にしてもらえれば幸いである。

ロシアでの生活

・寮

寮は二人部屋が大多数だったが、各階に数室三人部屋も存在した。各部屋にシャワーブースとトイレが設置がされていたが、洗濯機とキッチンが共用である。食事は自炊、洗濯は料金を払い各自で行う。一人暮らしをしたことある人は自炊も慣れている様子だった。しかし料理経験がない人も留学終盤にはかなり上達していたため、自炊のハードルは思ったよりも高くなかった。寮の同じ階にほかの国からきた留学生が住んでいたため、談話スペースで交流することができた。寮の近くにあるスーパーは雑貨店などが入っている建物に隣接しているため日用品もある程度はここで購入できる。

・授業

主に文法関連で予習の大切さを痛感する。留学直前はパスポート申請や荷造りで忙しいので日常的にコツコツ行っておくとよい。大学のテキストに一通り目を通しておくだけでも違う。また日常会話帳一冊持っておくと買い物時以外にも単語を調べられたりする。授業でパワーポイントを使用する場合があるので数人で一台パソコンを持っていくとよい。復習しやすいように授業のスライドはこまめに写真を撮っておくと便利である。

また大学には図書館があるので自習するときはよくそこを利用していた。寮の部屋にも机があるが各部屋に一つしかないため、勉強したいときは図書館のほうが周りを気にせずに集中できる。

・気候

9月頃は快晴が続き比較的暖かかったため日本でいう秋ごろの服装で十分だった。しかし11月後半に入ると一気に寒さが本格化するためダウンは必須だった。マイナス二ケタにもなるので手袋や帽子が必要だった。

ロシアでの観光

・中心街

ウラジオストク国立経済大学の寮の近くから出ているバスで中心街に行ける。中心街は多くの店が密集しているので衣料品やお土産を買うときに利用していた。

またカフェもたくさんある。ここではその中から一例を紹介する。



Gum百貨店裏にあるエクレア専門店“フスピシュカ・エクレア”のエクレア



中心街にあるレストランのボルシチ



中心街噴水通りのブリヌイ店には多くの種類のブリヌイが存在する。
これはリンゴのコンポートが入った甘いブリヌイだが、サーモンやチーズが入った食事系のブリヌイもある。値段が手ごろでいつもにぎわっている店である。日本語メニューあり。



これも Gum 百貨店裏の路地に位置しているアイスクリーム店のもの。
日本ではあまりなじみのないフレーバーもある。

・劇場

バスで橋を渡った先にバレエやオペラを鑑賞できる劇場がある。敷居が高くないのであまり服装などにこだわらなくても問題ない。オペラはロシア語だが英語に訳されたの歌詞が映し出されるのでストーリーも理解できる。オペラもバレエも希望制で先生が料金を回収後チケットをとってくれるので気軽に鑑賞できる。

最後に

留学に行く前は留学に関して不安が多く先が全く見えなかったが、行ってみると意外と順応出来てる自分に驚いた。国外はハードルが高そうにずっと思っていたが今は前ほどは感じなくなった。留学はロシア語上達だけでなく、自分の内面も成長できる経験だと改めて感じた。このプログラムは個人留学よりもハードルが低いので留学に行くか迷っている人にも是非お勧めしたい。